2026 年 10 月 30 日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

CTC、名古屋オフィス内に電力会社向けのネットワーク検証環境を開設

構想段階の技術評価から導入前検証までを実施し、電力ネットワークのデジタル化と安定運用を支援

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（代表取締役社長：新宮　達史、本社：東京都港区、略称：CTC）は、電力会社が導入する通信ネットワークの事前検証環境を CTC の名古屋オフィス内に開設します。シスコシステムズ合同会社（社長執行役員：濱田　義之、本社：東京都港区、以下：シスコ）が提供する機器を活用し、2026 年度中の開設に向けて整備します。

本検証環境では、複数の発電所や変電所などを結ぶ広域ネットワークに加え、通信ネットワークや国際標準規格などを活用して変電所内の設備を連携させる「デジタル変電所」の接続性や通信性能を評価できます。電力会社における構想段階の技術評価から導入前の検証までを実施し、電力ネットワークのデジタル化と安定運用を支援します。

再生可能エネルギーの導入が進み、太陽光発電設備や蓄電池が家庭や工場などにも普及しています。発電を行う場所が増加・分散することで、発電設備や変電所などを結ぶ電力ネットワークの構成が複雑になっています。加えて、高度成長期に整備された送配電設備が更新時期を迎えており、新たな機器やシステムへの段階的な移行が必要です。電力設備の制御、保護、監視に必要な通信の安定性を確保しながら移行するには、実際の利用環境に近い構成で事前に評価することが重要です。

本検証環境では、電力会社の広域ネットワークとデジタル変電所内のネットワークを 1 つの環境で検証できます。検証範囲を「拠点間」と「変電所内」に分け、導入予定の構成に応じて接続性や通信性能を確認します。

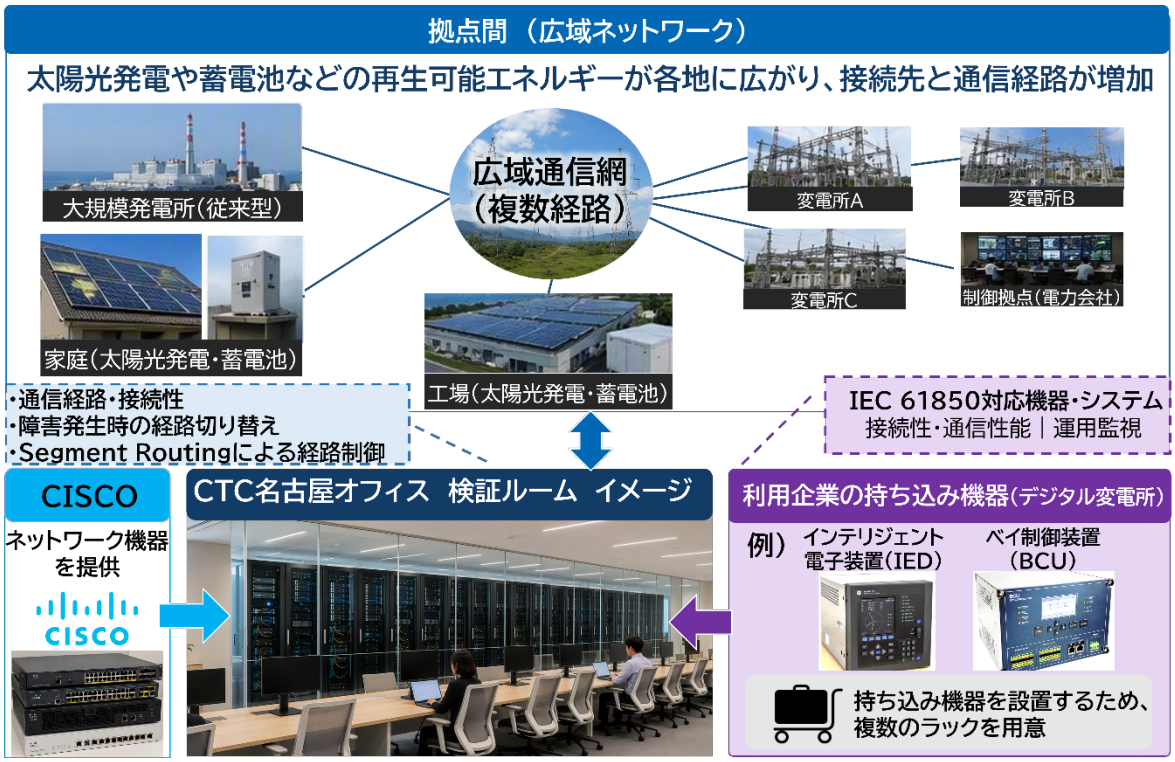
拠点間の検証では、複数の発電所、変電所、制御拠点などを結ぶ広域ネットワークを想定し、通信経路や接続性、障害発生時の動作を確認します。また、通信経路を指定する「Segment Routing（セグメントルーティング）」による経路制御も検証します。

変電所内を想定した検証では、変電所内の機器が交換する情報や通信方法などを定めた国際標準規格「IEC 61850」に対応するネットワーク機器を使用します。加えて、複数の設備の時刻を高い精度で合わせる通信方式「PTP」に対応した装置を備えます。利用企業が持ち込む異なるメーカーの機器やシステム間の連携、複数設備の時刻同期、伝送に必要な通信性能、ネットワークの運用監視などの検証が可能となります。

CTC は環境の設計、構築、設定および検証支援を担い、シスコはネットワーク機器を提供します。CTC が検証に必要なネットワークを準備するため、利用企業は接続試験や性能確認に注力できます。

CTC は今後、本検証環境を電力ネットワーク分野の技術検証と人材育成の拠点として運用します。検証を通じて得た知見を、お客様への提案やシステムの設計・構築、導入後の技術支援に生かし、電力設備のデジタル化と安定運用を支援します。

■CTC 名古屋オフィスの検証ルームと検証イメージ



今回のプレスリリースにあたり、以下のコメントをいただいています。

このたび、CTC 様が名古屋オフィスに『電力会社向けネットワーク検証環境』を開設されることを心より歓迎いたします。再生可能エネルギーの導入拡大や設備の高経年化への対応に伴い、日本の電力ネットワークは大きな転換期を迎えています。安定供給を維持しながら新たなデジタル技術へ円滑に移行するには、構想段階からの確実な技術評価と事前検証が欠かせません。IEC 61850 に準拠したデジタル変電所や Segment Routing による高信頼な広域ネットワークを検証できる本環境は、電力各社様の現場ニーズに即したシステム刷新を力強く後押しするものと確信しております。シスコは、CTC 様の先進的な取り組みに敬意を表するとともに、高信頼なネットワーク製品と技術支援の提供を通じて、CTC 様とともに日本の重要社会インフラの安定運用とデジタル変革に貢献してまいります。

シスコシステムズ合同会社
専務執行役員 公共広域事業統括 仁王 淳治

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

＜報道機関からのお問い合わせ先＞
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部
E-mail：press@ctc-g.co.jp